

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(十足町内会)

日時：令和8年7月29日（木）午後7時00分～午後8時00分

場所：十足延命館

- ① 農業政策の緩和について
- ② 十足の都市計画について
- ③ 県道池東松原線に歩道を作ってほしい
- ④ 集会所について
- ⑤ 公共施設を十足に建設する予定はないか
- ⑥ 防犯カメラの設置について

※この他、毎年継続して県や市に要望している事項についても引き続き対応していく。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(十足町内会)

意 見

農業政策の緩和について

伊東市で行っている農業政策は、実際の農家やこれから農業を始めようと考えている人の実情に合っているのか疑問に思っております。

新規就農支援事業は、支援制度として、研修を受けると思いますが、研修先は伊東市ではなく、伊豆の国市で、作目も指定されており、実際にその作目で農業を行うとは限りません。

認定農業者制度は、認定条件として、農業経営計画に農業者の純利益 600 万以上となっており、この十足地区でこの計画を立てることはかなり厳しい状況です。

伊東市の実情に沿った条件の緩和などをお願いしたいです。

回 答

新規就農支援事業（新規就農者育成総合対策就農準備資金【国交付金事業】）は、次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修を後押しする資金を交付する事業であり、研修先は、栽培技術だけでなく、農業経営、販売、労務管理、安全管理など、就農に必要な知識や技術を体系的に習得する必要があることから、県が認定した研修機関や先進農家となっております。

また、認定農業者の認定基準として、農業者の年間所得目標を 600 万以上としているのは、農業を職業として持続的に営める水準を目安に、静岡県で作成する基本方針に基づき決定しております。

ご意見のとおり、静岡県内であっても、地域により農業環境は違っており、本市においては適し難い部分があることは理解できますので、地域の実情に即した制度となるように、国や県に定期的に要望をあげていくなど、できることから取り組んでまいります。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(十足町内会)

意 見

十足の都市計画について

以前都市計画マスタープランを読んだ際に、十足地区は農地と森林を守っていくことになっているが、民意を取り入れているか疑問に思っている。

今後は農業も担い手がいないとなると耕作放棄地、荒れ地になってしまう可能性も出てきます。

現在の豊かな森林やのどかな風景を残していくことも大切ですが、地域を存続していくための開発も必要かと考えます。元々の住民も住みやすいまちづくりに加えて、一度やむを得ず十足から出ていった方もまた戻ってきたいと思うような地域となるような計画を望みます。

回 答

伊東市都市計画マスタープランは、これからの伊東市が目指すまちづくりの方向を示す計画であり、都市計画の基本的な方針を示しているものであります。

現在のマスタープランは、平成 24 年度に改定したものとなります。改定時には地区別説明会を行い、多くの市民の皆様のご意見を参考にしながら策定しております。

都市計画マスタープランは、おおむね 20 年後の将来像を示しているものですが、改定から 10 年以上が経ち、人口減少や少子高齢化が進行する等、地域を取り巻く環境が大きく変化してきました。

今後もこのような対話を重ねながら地域の現状や将来像について共通の認識を深めていき、将来のまちづくりの方向性について相互理解を図った上で、持続可能で魅力ある将来都市像の実現を目指してまいります。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(十足町内会)

意 見
県道池東松原線に歩道を作ってほしい 毎年要望を出している県道池東松原線の歩道について、交通量が多く事故也多発しているため、作っていただきたい。 定期的に要望を上げることで優先順位が上がっていくのではないかと思いますので、熱海土木事務所には要望を言い続けてほしい。
回 答
県道池東松原線への歩道設置につきましては、以前から十足区様からご要望をいただいております、その都度県道を管理する熱海土木事務所へ要望を行っているところです。 県道の道路改良事業や歩道整備に際しては、地域の皆様や道路沿いの私有地の地権者の方のご協力が不可欠ですので、地域の方々の意見集約、事業への合意形成等について、ご協力をお願いいたします。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(十足町内会)

意 見
集会所について 懇談場所として使用している延命館は、選挙の投票所として使用していますが、手狭で職員の休憩場所もとれず苦慮されていると聞きます。十足広場横のかつて販売所として使用していた建物を建て替え、投票所として使用できたり、十足の農家で採れた作物を販売したり、住民が多目的に活動できる集会所を作りたいと思いますが、費用は3000万円かかるということです。 市からの補助制度がありましたら教えてください。
回 答
令和8年8月から伊東温泉競輪地域振興事業補助金が始まりました。要綱をお渡ししますので、詳細につきましては公営競技事務所にご相談ください。 秘書広報課の会館整備費補助金は会館の新築の場合、経費の1／4以内の上限500万円で、改築の場合、経費の1／2以内の上限200万円です。詳細につきましては、秘書広報課へご相談ください。 ※十足区長様に伊東温泉競輪地域振興事業補助金の要綱を渡しました。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(十足町内会)

意 見
公共施設を十足に建設する予定はないか
十足財産区の土地に公共施設を建ててもらい、財産区に賃料を払ってもらうことで、その資金を基に集会所を新設できないかと考えますが、認定こども園など公共施設を十足に建設する予定はありませんか。
回 答
現在、耐震性能と老朽化の課題を抱える宇佐美保育園と園児数減少の課題を抱える宇佐美幼稚園について、新たに認定こども園として、統合し整備する方向で進めています。
十足財産区の土地における公共施設の建設計画等は特にございませんが、今後このような懇談の機会を作りながら十足のまちづくりを共に考えていきたいと思っております。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
(十足町内会)

意 見
防犯カメラの設置について 町内会での防犯カメラの設置補助金があり大変助かっているが、さらに市道、県道含めて道路の危険箇所等に防犯、犯罪防止の点から防犯カメラの設置を市主導で進めてもらえないか。
回 答
防犯活動とは、地域や社会で犯罪や事故を未然に防ぎ、安全・安心な環境を維持・向上させることを目的に、警察や自治体だけでなく、住民・企業・学校・ボランティアなど多様な主体が関わるのが特徴となっております。 このような中、地域の自主的な防犯活動を促進し、犯罪等に強いまちづくりの推進に向けた地域の自主的な取組を支援するため、市では令和３年度から「伊東市防犯カメラ設置事業費補助金」事業を創設し、街頭防犯カメラを設置する団体に対し、補助金を交付しております。 防犯活動に携わる地域・自治体等がそれぞれの役割を果たし、連携していくことで安全・安心なまちづくりの実現に繋がってまいりますので、防犯活動の主旨を御理解いただき、引き続き、地域防犯活動への取組に、御協力いただきますようお願い申し上げます。